

保護者や職員のみなさまへ

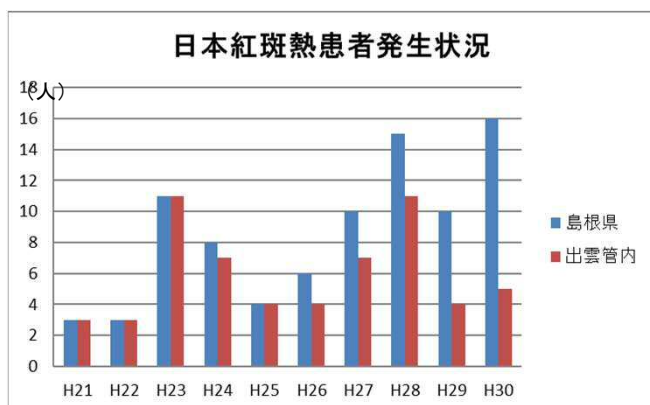
# 日本紅斑熱に注意しましょう！

野山や畑にいるマダニに咬まれることで感染する病気に日本紅斑熱があります。島根県では北山山系に発生が多いため、出雲市は感染者の多い地域です。マダニは、春から秋にかけて活動するため、屋外活動では注意が必要です。

マダニ(写真はフタゲチマダニ)



## ●患者の発生状況



## ●症状



■日本紅斑熱の発疹  
馬原病院 馬原文彦氏 写真提供



■マダニ類の刺し口  
馬原病院 馬原文彦氏 写真提供

- マダニに咬まれてから**2日～10日間**で症状が出ます。
- 主な症状**発熱(高熱)・頭痛・関節痛・発疹**
- 重症化すると、死亡することもあります
- マダニの吸血した痕や皮膚に咬みついて吸血しているマダニが見つかることもあります

## ●感染予防のためには？

お子さんが屋外(野山や畑、草むら等)に出かけるときは、次のことに気を付けましょう。

- 肌を出さないように、長袖、長ズボンを着用させましょう
- 虫よけスプレーを使用させましょう
- 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりせずに敷物を敷くよう指導しましょう
- 屋外から帰った後は、お子さんの全身を確認し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

※ 大人の対策方法も同様です。保護者や職員の皆さんもご注意ください。



## ●マダニにかまれてしまったら・・・

- マダニが皮膚に咬みついて取れないときは、医療機関(皮膚科)で取ってもらいましょう。
- 無理にとろうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱、発疹等の症状があった場合には、早めに医療機関を受診しましょう。(マダニに咬まれたことを伝えてください)



問い合わせ・相談 出雲保健所 衛生指導課 (0853-21-1185)